

高野長英記念館の草木

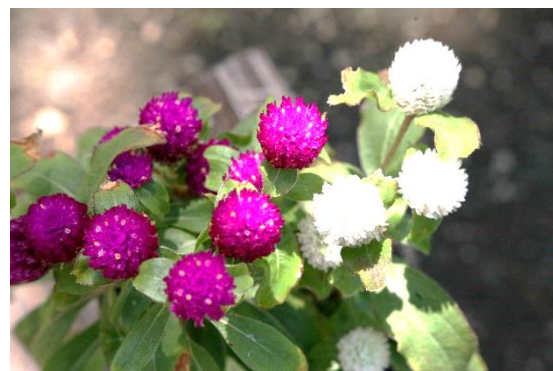
残暑お見舞い申し上げます

立秋が過ぎ、暦の上では秋。秋とはいえ まだまだ暑さは続きそうです。
記念館周辺の木々からは、暑さを吹き飛ばすほどの元気な蝉の鳴き声が絶え間なく聞こえてきます。まさに「蝉しぐれ」です。



キキョウ

＊新たに8月からお目見え。青紫色の星形の花が魅力的です。キキョウの花言葉は「変わらぬ愛」「誠実」だそうです。江戸で開塾した長英は門下生に「人は学ぶためには食わねばならない しかし、食うために学んではならない」と格言を与え、学問への誠実な態度を教えています。（撮影 8月13日）



センニチコウ

＊今年のような猛暑にも強い、丈夫なセンニチコウ。丸い部分は花ではなく苞(ほう)と呼ばれる葉だそうです。きれいな色のまま、色あせることなく、その姿を示しています。センニチコウのように長英の生き方、業績を色あせることなく後世に残していきます。（撮影 8月13日）



ルドベキア

(撮影 8月13日)